

# 主な出来事 (2007年1~3月)

	三重・愛知	全国・海外
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「地域ブランド」の商標登録を認める地域団体商標に、「松阪牛」と「松阪肉」が三重県での認定第1号に。牛としては全国初の認証。〈1/17〉</li> <li>●桑名市に伝わる伝統行事で、「日本一やかましい祭り」といわれる「桑名石取祭」が国の重要無形民俗文化財に指定。〈1/19〉</li> <li>●三重県と四日市市が、ドイツの大手化学メーカーBASFの日本法人BASFジャパンと県内ベンチャー企業支援などで協力することで合意、覚書を締結。県が外資系企業と協力関係を結ぶのは初めて。〈1/25〉</li> <li>●名古屋税関が2006年の貿易概況を発表。名古屋港の輸出総額は前年比18.0%増の10.3兆円と7年連続で過去最高を更新。〈1/25〉</li> <li>●名古屋駅北側で地上40階の超高層ビル「名古屋ルーセントタワー」がグランドオープン。〈1/26〉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ルーマニアとブルガリアが欧州連合(EU)に加盟し27カ国に。欧州単一通貨ユーロはスロベニアが参加し13カ国に。〈1/1〉</li> <li>●みずほ証券と新光証券が2008年1月を目処に合併することを発表。預かり資産で三菱UFJ証券を抜いて4位に。〈1/10〉</li> <li>●内閣府が2005年度の家計の貯蓄率を発表。貯蓄率は3.1%と、現在の調査方式が始まった1955年度以降で最低に。また貯蓄率の低下は8年連続。〈1/12〉</li> <li>●官製談合事件による出直し宮崎県知事選でタレントのそのまんま東氏が初当選。本名の東国原英男で知事職務遂行へ。〈1/21〉</li> <li>●安倍晋三首相が衆参両院本会議で初の施政方針演説。「美しい国」の実現を目指し、新成長戦略を推進する考えを表明。〈1/26〉</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国土地理院の調べで、2006年の三重県の面積が5,761.15平方キロメートルと、前年より0.19平方キロメートル増に。東海4県では最多の面積増。〈2/1〉</li> <li>●愛知県知事選で神田真秋氏が3選。また、三重県菟野町長選では、石原正敬氏が初当選、35歳と全国最年少の町長が誕生。〈2/4〉</li> </ul> <p><b>コアーナス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●三重県が外国人登録者数調査結果を発表。2006年12月末現在の県内の外国人登録者数は4万9,304人、県内人口に占める割合は2.58%とともに過去最高。〈2/7〉</li> <li>●世界遺産の熊野古道と地域の歴史・文化・伝統などの情報発信機能を担う、東紀州地方の交流拠点施設「県立熊野古道センター」が尾鷲市に開館。〈2/10〉</li> <li>●三重県が2005年度の県民経済計算(速報)を発表。県内実質総生産は8兆4,468億円で、実質成長率は前年度比2.9%増と4年連続のプラス成長。〈2/13〉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北朝鮮の核問題をめぐる6カ国協議において、朝鮮半島の非核化に向けて各国がとるべき初期段階措置を決めた合意文書を採択。〈2/13〉</li> <li>●(財)飛鳥会をめぐる業務上横領事件に関連して、金融庁が三菱東京UFJ銀行に対して法人向け新規融資業務の1週間停止命令発動。〈2/15〉</li> <li>●内閣府が2006年10-12月期の国内総生産(GDP)を発表。実質成長率は年率で4.8%増と8四半期連続のプラス成長。〈2/15〉</li> <li>●日本銀行が政策金利である無担保コール翌日物金利の誘導目標を年0.25%から0.5%に引き上げることを決定、即日実施。利上げは7ヵ月ぶり。〈2/21〉</li> <li>●日経平均株価が1万8,108円79銭と2000年5月8日以来6年9ヵ月ぶりに1万8,000円の大台を回復。〈2/22〉</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●名古屋市内百貨店5社が2006年度の売上高を発表。5社合計は4,683億円で前年度比1.2%減と2年ぶりにマイナス。〈3/1〉</li> <li>●名古屋駅前の超高層ビル「ミッドランドスクエア」が全面開業。地上47階のオフィス棟と同6階の商業棟には、トヨタ自動車や有名ブランド店などが入居。〈3/6〉</li> <li>●三菱化学が四日市事業所に建設していた、高機能樹脂材料などの研究開発施設となる「四日市未来創造館」が完成。〈3/6〉</li> <li>●老朽化が進んだため、旧会館の建て替えを図っていた四日市商工会議所の新会館が四日市市諏訪町にオープン。〈3/12〉</li> <li>●近畿日本鉄道が伊賀上野-伊賀神戸駅間を結ぶ伊賀線を運行する新会社として伊賀鉄道の設立を発表。〈3/26〉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●イオンとダイエーが資本・業務提携で合意したと発表。両者の連結売上高合計は6兆円を超え、国内最大の流通グループが誕生。〈3/9〉</li> <li>●大阪空港発高知空港行きの全日空機が高知空港に前輪を下ろせぬまま胴体着陸。乗客・乗員60人は無事。〈3/13〉</li> <li>●ライブドア事件で、証券取引法違反罪に問われていた前社長、堀江貴文被告に懲役2年6月の実刑判決。〈3/16〉</li> <li>●国土交通省が2007年1月1日時点の公示地価を発表。全国平均(全用途)は前年比0.4%上昇し、1991年以来16年ぶりのプラスに。〈3/22〉</li> <li>●能登半島沖を震源とするマグニチュード6.9の地震が発生。石川県輪島市などで震度6強を観測、死傷者が出るなど北陸地方を中心に被害。〈3/25〉</li> </ul>

## コアーナス 三重県内の外国人登録者数が過去最高

三重県が2月7日、外国人登録者数調査の結果を発表しました。2006年12月末現在の三重県内の外国人登録者数は、前年比3.7%増の49,304人と過去最高を更新し、県内総人口に占める外国人の比率も2.58%となりました。国籍別の登録者数をみると、ブラジルが20,801人と最も多く、次いで中国7,891人、韓国又は朝鮮6,363人、フィリピン4,414人、ペルー3,593人の順となっています。また、市町別にみると、鈴鹿市が9,520人と最も多く、次いで四日市市9,202人、津市8,535人、伊賀市4,922人、松阪市3,704人の順となっています。ちなみに、外国人比率は木曾岬町が4.90%と最も高くなっています。今後も好調が続く県内経済活動を背景に、県内の外国人登録者数は増加することが見込まれます。